町の“いま”を伝える

Iwate-machi Monthly Public Relations Paper

No.674

躍る若駒　祝う60周年

岩手町町制施行60周年記念式典が挙行され、アトラクションに沼宮内駒踊りの皆さんが出演。躍動する若駒たちが岩手町誕生60年を祝いました。
…関連記事2-3ページ（7月19日、森のアリーナ）

■主な記事

● 町制施行60周年記念式典…2-3ページ
● 「認知症」テーマに研修会…4-5ページ
● 道の駅「石神の丘」13周年…6ページ
● 県知事・県議会議員選挙…8-9ページ

希望、そして未来へ—— 「岩手町」誕生 60年を祝う

昭和30年に沼宮内町、川口村、一方井村、御堂村の一町三村が合併し「岩手町」が誕生してから、7月21日で60年を迎えました。町では記念式典を挙行。歴史の節目を祝うとともに、「ふるさと岩手町」の希望に輝く未来へ、新たな一歩を踏み出しました。

町制施行60周年を祝う記念式典は7月19日、森のアリーナで行われました。県副知事や国会議員、県議会議員、近隣市町長などの来賓の他、町関係者など約500人が出席し、「岩手町」誕生60年を祝いました。

オープニングアトラクション「北上川清流太鼓」の力強い演奏で幕を開けた式典では、町勢発展のために尽力し故人となった人たちへ黙とうを捧げた後、町内の小学生8人による朗読に続き、出席者全員で町民憲章を唱和しました。

民部田幾夫町長は、「60年の道のりは、町民一人一人が努力を重ね英知を結集した成果であり、偉大な先輩方の町を思う心が結実した賜物であります。誕生から60年の節目を迎えた今日、誇りを持って語ることができる『ふるさと岩手町』の創生に全力を傾注して参りたいと決意を新たにするものであります。『この風を感じ、この土に触れ、この緑をながめ』先人の槌音に感謝し、町民皆さまと共に、今新たな一歩を踏み出します」と式辞を述べました。

引き続き行われた記念表彰では、特別表彰の岩崎茂氏をはじめ、個人20人と4団体に民部田町長が表彰状と記念品を手渡し、町の発展に尽力されたそれぞれの功績をたたえました。また、公募した60周年のテーマとロゴマークの入賞者の表彰も行われました。

式典の最後は、全員で町民歌を斉唱。歌声をアリーナに響かせ、「ふるさと岩手町」を思う心を一つに節目の時を祝いました。

式典後のアトラクションでは、「希望、そして未来へ—— この風 この土 この緑、60年のお付き合い」と題した記念映像が放映された他、郷土芸能4団体の演舞が祝いの席に花を添えました。また、さまざまな分野で活躍する町の皆さんによる記念トークが行われ、町の未来へ向けた展望が話されました。

記念式典などの様子は、後日発行する本紙号外で詳しくお知らせします。

特別表彰を受ける前統合幕僚長の岩崎茂氏

記念表彰受賞者（敬称略）

【特別表彰】 岩崎　茂

【表彰】 一條武照　稲村トミ　遠藤國男　及川喜一　坂井博毅　佐々木久夫　佐渡　豊　柴田和子　上路敬子　田村政雄　田村禮子　千葉美保子　西田利夫　早坂信一　早坂富夫　松本源治　宮田和義　山崎繁雄　山中ナツエ　町保健推進員協議会　町婦人団体連絡協議会　県立沼宮内高校男子ホッケー部　県立沼宮内高校女子ホッケー部

アトラクションで祝いの舞いを披露する「北山形しっしどかっか」。他、「沼宮内駒踊り」、「川口きつね踊り」、「浮島念仏剣舞」が出演

町民憲章を高らかに朗読する児童たち。より良いまちの創造を願い出席者全員で唱和した

農業、健康福祉、食、祭り、ホッケーの各分野で活躍する町の皆さんによる60周年記念トーク。IBC岩手放送菊池幸見アナウンサーと町出身のフリーリポーター千葉星子さんの司会で町の未来が語られた

㊤多数の来賓や招待者に式辞を述べる民部田町長　㊦オープニングを飾った「北上川清流太鼓」

「健康福祉のまち」実現へ着実に前進

認知症になっても住み慣れた地域で暮らすために

町では、高齢者が住み慣れた家庭や地域で健康に生き生きと暮らし、介護が必要になってもその人に合った支援の下で豊かな生活を送れる、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。誰もがなる可能性のある「認知症」に対する取り組みにより「健康福祉のまち」実現へ着実に前進します。

㊤認知症施策研究の第一人者・進藤由美氏を講師に招き3回の研修会を開催
㊦研修では「自分や身近な人が認知症になった時、どのような支援が必要か」などをグループワークで話し合い理解を深めた

介護認定の高齢者約6割に認知症状

「認知症」は、年を取ることなどで起きる脳の病気で、誰もがなる可能性があります。全国的な推計によると65歳以上の約7人に1人、85歳以上では約半数の人が認知症の可能性があるとされています。

町では、総人口1万4千480人（4月1日現在）のうち、65歳以上の高齢者は4千892人で約3人に1人が高齢者となっており、このうち介護認定を受けている高齢者は約1千人。その6割の人に何らかの認知症状がみられ、支援が必要な状況にあります。

「認知症」共通テーマ3回の研修会を開催

このように町の重要課題の一つである認知症を共通テーマに町では7月22日と23日の両日、プラザあいで研修会を開催しました。

研修会は対象者ごとに、3回に分けて開催。認知症施策研究の第一人者として広く活躍する社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センターの進藤由美氏を講師に迎え、①一般町民②町内医療介護従事者③安心生活あいネット関係者（自治振興会、民生委員・児童委員、協力事業所職員）―がそれぞれの立場で認知症への理解を深め、認知症の人をどのように支えられるかを考えました。

自分の意思を伝えること地域で支えることが重要

進藤氏は一般向けの講演で「認知症は進行していく病気。一瞬にして全てを失うようなものでは決してない。適切な医療・介護を受けている間は、症状の進行はゆるやか」と説明。認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、「変化する症状によって必要な医療・介護、受けるサービスも変わってくる。自分や周囲の人が認知症になったらと考えると、早い段階で受診して自分の意思や願いを周囲に伝えておくことが必要」と訴えました。

認知症支援のためにできることを書き、顔写真を貼る「やまぼうしツリープロジェクト」。支援の輪の広がりが視覚化されることでさらなる連携強化を図る取り組み

医療介護従事者の研修では、進藤氏が認知症対策の動向などを説明した他、岩手西北医師会（高橋邦尚会長）の紺野敏昭副会長が医療・介護現場での連携や「やまぼうしツリープロジェクト」の取り組みなどを発表。地域に住む一人一人が認知症との関わりを考え、生き生きと暮らせる社会の構築を願いました。

また、進藤氏は町が取り組む高齢者の生活支援や見守り活動「安心生活あいネット」関係者に対しては、「認知症の本人が、どのような支援や生活を望んでいるかが一番大事。それを聞き出すためにも高齢者が元気な時から地域でつながりを持ち、支えていくことが大切」と話しました。

一人で抱え込まず不安は相談窓口へ

地域包括支援センターは、介護や健康、福祉、医療などの支援を行うための相談機関です。在宅介護支援センターも同様の相談業務を行います。不安や悩みは一人で抱え込まずに次の相談窓口に相談し、公的サービスを上手に利用しましょう。

【相談窓口】○町地域包括支援センター（役場健康福祉課内）☎62・2111内線515、518

○在宅介護支援センター川口（ケアホーム川口内）☎65・3220

○在宅介護支援センター沼宮内（佐渡医院向かい）☎62・4150

◆居宅介護支援事業所（町内）

ケアマネージャー（介護支援専門員）が介護の相談に応じます。

○川口指定居宅介護支援事業所（ケアホーム川口内）☎65・3220

○徳政堂指定居宅介護支援事業所（佐渡医院向かい）☎62・4150

○さわやかクリニック（さわやかハウス内）☎61・2002

○北上クリニック介護支援センター（北上脳神経外科クリニック併設）☎62・5111

国勢調査 2015

日本に住む全ての人が対象 国勢調査が実施されます！

5年に一度の調査 基準日は10月1日

5年に1度実施される国勢調査は今回、平成27年10月1日を基準日とし、日本に住んでいる全ての人および世帯を対象に実施されます。

少子高齢化社会における日本の未来を描く上で欠くことのできないデータを得るための調査です。調査結果は、さまざまな法令にその利用が定められている他、社会福祉、雇用政策、生活環境の整備、防災対策など、私たちの暮らしのために役立てられます。

インターネットで回答できます

今回の調査では、先にインターネットによる回答を受け付けます。その後、インターネットで回答されなかった世帯には町の統計調査員が紙の調査票を配布して調査を行います。紙の調査票は、調査員に直接提出いただくか、郵送でも提出いただけます。

9月10日から、調査員がインターネット回答のための書類をお配りしますので、パソコンやスマートフォンなどインターネット環境がある場合は、できるだけインターネットでの回答をお願いします。

「かたり調査」に注意

国勢調査をかたり、個人情報を聞き出そうとしたり、金銭をだまし取ろうとしたりする事例が発生しています。

統計調査員は写真付きの「統計調査員証」を携帯して訪問します。調査票の提出前に電話で調査事項をお尋ねすることはありません。

また、調査に当たって金銭を要求することは一切ありませんので注意ください。

問 役場企画商工課企画広報係 ☎62・2111内線215

表彰

全国町村監査委員協議会感謝状

町代表監査委員の松森恭一さん（右から2人目）と受賞を祝う関係者たち

平成12年7月から現在まで町代表監査委員を務める松森恭一さん（77）＝上愛宕下＝へ、全国町村監査委員協議会から感謝状が贈られました。

松森さんは同協議会副会長や県の協議会会長を歴任。県内町村監査委員のトップとして町村の適切な監査業務を推進するとともに監査委員の資質向上や監査機能の充実などに尽力されました。

東部地区青少年健全育成啓発集会

地域全体で取り組み誓う

未来を担う青少年を地域全体で健全に育もうと東部地区青少年健全育成啓発集会は7月24日、北山形公民館で行われました。

当日は、同地区の中学生や教職員、地域の住民など約40人が参加。東部中3年の岩崎右京君が「私たちは、自分の行動に自覚を持ち、地域社会の一員として強くたくましい人間になれるよう努力します」と誓いの言葉を述べた他、参加者全員で決議文を読み上げ、青少年のための健全な社会環境づくりを誓いました。

【決議文】

▼青少年の非行・被害防止に取り組む町民運動を推進する

▼地域社会の連携を強め、青少年の社会参加活動を促進する

▼明るく信頼しあう家庭づくりを推進する

▼青少年のための健全な社会環境づくりを推進する

▼郷土岩手を愛する誇りと自覚を持った、青少年を育てる

代表して誓いの言葉を述べる岩崎右京君

― 岩手町町制施行60周年記念 ―

第21回 岩手町夏まつり

期日：8月14日㈮

場所：道の駅「石神の丘」

内容：★特設屋台　午前11時～午後8時30分

★お祭りコーナー　午前11時～午後5時

★花火大会　午後7時30分～午後8時

★お楽しみ抽選会（町制施行60周年記念特別企画）

当日、午後6時30分からイベント広場本部テントで先着240人に抽選券を配布。花火大会終了後、抽選を行い、当選者には町特産品などをプレゼントします

※各種イベントは変更になる場合があります。

※雨天の場合は、花火大会のみ15日㈯の同時刻に開催します。

※花火大会の時間帯は、道の駅「石神の丘」の駐車場が大変込み合います。
町役場駐車場の他、周辺の駐車場をご利用ください。

※危険防止のため、無人航空機（ドローン）の使用は遠慮ください。

問 町夏まつり実行委員会（役場企画商工課内）☎62-2111 内線213

第２回東北「道の駅」大賞 受賞記念

道の駅 石神の丘 13周年感謝祭

①大勢が集まったお楽しみ大餅まき大会　②小学生が挑戦した野菜釣り
③一番多く釣り上げた出場者に産直組合長からプレゼント

さまざまイベントで多くの利用者に感謝

道の駅「石神の丘」の開業13周年記念感謝祭は7月25日と26日の両日、同駅で開催されました。両日は、各種物産や旬の町産野菜を盛りだくさんに用意。町産直組合の皆さんの協力で野菜釣りや収穫体験、抽選会などが行われた他、ステージショーや餅まきなどさまざまイベントが催され、多くの利用者に日頃の感謝を伝えました。

キャベツやキュウリ、ピーマン、ナスなどの野菜が入った袋を時間内に好きなだけ釣り上げる野菜釣りには、小学生以下の子どもたちが挑戦。家族で訪れた沼宮内小4年の鈴木利奈さんは一番多い11袋を釣り上げ、「1位になってうれしい」と大量の野菜を手に笑顔を見せました。

町の新しいお土産に！「キャベツまんじゅう」

感謝祭に合わせ「キャベツのまち・いわてまち」をPRする「岩手町キャベツまんじゅう」が新発売されました。ほんのり緑色のまんじゅうには、町特産キャベツ「いわて春みどり」のパウダーが練り込まれています。

お買い上げ第1号となったのは雛鶴大史（ひろと）君（6）と父・佳史（よしひと）さん（34）＝上鳴沢＝。佳史さんは、「新商品と聞いて気になって買いに来ました。みんなで食べてみます」と町の新しいお土産に期待を寄せていました。

㊤「岩手町キャベツまんじゅう」は９個入り648円（税込み）、15個入り1,080円（同）で新発売。町のお土産にどうぞ
問 町ふるさと振興公社 ☎61－1600
㊧お買い上げ第１号の雛鶴さん親子が民部田町長と記念撮影

選挙

県知事・県議会議員

任期満了に伴う県知事選挙は8月20日(木)、また、県議会議員選挙は28日(金)に告示され、9月6日(日)に投票が行われます。
私たち県民の代表を選ぶ大切な選挙です。一人一人の意思を県政に反映させるため、自らの判断で必ず投票しましょう。

●投票日
9月6日(日)
●投票時間
午前7時～午後6時

期日前投票

投票所：町役場庁舎1階
期　日：8月21日㊎～9月5日㊏
ただし、県議会議員選挙は8月29日㊏～
時　間：午前8時30分～午後8時

投票できる人の条件

今回の選挙で投票できる人は、次の二つの事項に当てはまり、選挙人名簿に登録されている人です。
①町内に住所がある満20歳以上の人(平成7年9月6日以前に生まれた人)
②引き続き3カ月以上、町内に住んでいる(住民基本台帳に登録されている)人。他市町村から転入した人は、県知事選挙では平成27年5月19日までに、また県議会議員選挙では平成27年5月27日までに転入届をし、引き続き3カ月以上、町の住民基本台帳に登録されている人

●岩手町へ転入し3カ月未満の人は前住所地で投票

平成27年5月28日以後に県内の市町村から町へ転入した人は、前住所地の市町村に選挙権があります。役場町民課から「引き続き同一の県の区域内に住所を有する旨の証明書」の発行を受け、この証明書を持って前住所地の市町村で投票してください。

●岩手町から転出し3カ月未満の人は岩手町で投票

平成27年5月28日以後に県内の他市町村に転出した人は、岩手町に選挙権があります。転出先の住民登録担当課から「引き続き同一の県の区域内に住所を有する旨の証明書」の発行を受け、岩手町内の投票所で投票してください。また、5月28日以降、県外へ転出した人や、県内に住所があっても2回以上移転する(した)人は投票できません。

期日前・不在者投票は9月5日㊏までに

仕事や病気、旅行や用事などで投票日に投票区内にいない人も次により期日前投票ができます。
【期間】▼県知事選挙8月21日(金)～9月5日(土)
▼県議会議員選挙8月29日(土)～9月5日(土)
※8月21日(金)～8月28日(金)は県議会議員選挙の投票はできませんので注意ください。
【時間】午前8時30分～午後8時
【場所】役場1階期日前投票所
【その他】入場券が配布されている場合は入場券を持参ください。なお、県内の他市町村へ転出した人で期日前・不在者投票をする場合、「引き続き同一の県の区域内に住所を有する旨の証明書」の提示が必要です。あらかじめ転出先の住所登録窓口などで証明書の交付を受けてください。
一方、出稼ぎなどで町外にいる人は、その市町村の選挙管理委員会で、また入院中の人は病院(指定病院に限ります)で不在者投票ができます。この場合、不在者投票用紙などの請求を行い、決められた場所で投票することになりますが、不在者投票ができる期間が短いので、早めに手続きをしてください。

体が不自由な人は郵便投票できます

身体に重度の障害があり、投票日に投票所に出掛けることができない人は、「郵便投票」ができます。これは、町選挙管理委員会から送られた投票用紙に本人が記入し、その投票用紙を町選挙管理委員会へ郵送するものです。郵便などによる不在者投票ができる人は(表1)の皆さんですが、次のことに注意ください。
▼所定の郵便等投票証明書交付申請書(町選挙管理委員会にあります。電話でも請求できます)に本人が氏名を記入し、身体障害者手帳か戦傷病者手帳を添えて町選挙管理委員会へ申請し、あらかじめ郵便等投票証明書(7年間有効)の交付を受けてください。なお、本人が記載できないと認められた場合は、代理記載制度を利用できます。代理記載制度対象者(表2)は申請書の署名は不要ですが、代理記載人となる人の届け出が必要です。
▼郵便等投票証明書を既に持っている人は、「投票用紙と投票用封筒の請求書」に本人が氏名を記入の上、交付された証明書を送付し、町選挙管理委員会へ投票用紙と投票用封筒を請求してください。

9月6日㊐は入場券を忘れずに

投票日当日に投票できる時間は、午前7時から午後6時です。投票は、郵送される「投票所入場券」に記載されている投票所(表3)で行ってください。また、投票の際は入場券を忘れずにお持ちください。
投票は、原則として自分自身で投票用紙に記入して行うことになっています。しかし、目が不自由だったり、手にけがをしていたり、自分で記入できない人は、投票所の受付係にお申し出ください。係員が本人に代わって記載する「代理投票」によって投票できます。
なお、付き添いや看護が必要な人が投票する場合は、看護人や付添人、また、幼児や赤ちゃんなどと一緒に投票所へ入ることができます。ただし、有権者以外が投票用紙を投票箱へ入れることはできませんのでご注意ください。

開票は午後8時～参観人は50人まで

開票は、投票日当日の9月6日午後8時から町総合開発センターで行います。町内の有権者は誰でも参観可能で、定員は50人です。

問 町選挙管理委員会事務局
☎62-2111内線203

表1　郵便などによる不在者投票の対象者

郵便などによる不在者投票は、身体障害者手帳か戦傷病者手帳をお持ちの選挙人で、表中○印の該当者が対象になります。また、介護保険被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」の人も対象になります。

	障害の種類	障害の程度		
		1級	2級	3級
身体障害者手帳	両下肢、体幹、移動機能の障害	○	○	
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害	○	－	○
	免疫の障害	○	○	○

	障害の種類	障害の程度			
		特別項症	第1項症	第2項症	第3項症
戦傷病者手帳	両下肢、体幹、移動機能の障害	○	○	○	
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害	○	○	○	○

表2　郵便などによる不在者投票(代理記載制度)の対象者

郵便などによる不在者投票ができる選挙人で、本人が投票用紙に記載できないと認められた表中○印の該当者は、代理記載制度を利用できます。あらかじめ町の選挙管理委員会に届け出た代理記載人(選挙権を有する人に限る)に投票に関する記載をしてもらい投票します。

障害の種類	障害の程度
	1級
上肢、視覚の障害	○

障害の種類	障害の程度		
	特別項症	第1項症	第2項症
上肢、視覚の障害	○	○	○

表3　投票所一覧

投票区名	投票所名(投票所を設ける場所)
第1投票区	御堂集落センター
第2投票区	水堀いきがい交流センター
第3投票区	横沢集会所
第4投票区	豊岡開拓婦人ホーム
第5投票区	新町城山青年婦人会館
第6投票区	細沢多目的集会施設
第7投票区	勤労青少年ホーム
第8投票区	愛宕下住宅集会所
第9投票区	林業研修センター
第10投票区	横田地区コミュニティ消防センター
第11投票区	久保公民館
第12投票区	一方井健康センター
第13投票区	黒石生活改善センター
第14投票区	黒内多目的集会施設
第15投票区	信義丘会館
第16投票区	浮島多目的集会施設
第17投票区	川口地区社会体育館
第18投票区	野原地区コミュニティ消防センター
第19投票区	南山形高齢者等活性化センター
第20投票区	北山形公民館
第21投票区	岩瀬張地区集落センター

まち ひと きらり

いつかどこかで

投稿と問い合わせは役場企画商工課企画広報係 ☎62-2111 [内線217]まで

Topics01 沢口伸輔さんが町長表敬訪問 海外協力隊の2年間を報告

国際協力機構（ＪＩＣＡ）の青年海外協力隊員として2年間海外で活動した沢口伸輔さん(27)＝石神＝が7月6日、民部田幾夫町長を表敬訪問しました。

沢口さんは理数科の教師としてアフリカ中部のルワンダに派遣され、現地の中学1年生に生物を教えました。

沢口さんは「携帯電話やインターネットが普及し発展しているが、都市部と地方部の格差は激しい」と現地の様子を報告。勤務した地方部の中学校は、「子どもたちはけなげ。毎日1時間半かけて歩いて登校する子もいるが、学校に来て友達と話すのが楽しいようだ」などと伝えました。

学校での活動以外にも現地で栽培されるコーヒー豆の皮を使った有機肥料作りなどに取り組んだり、休暇を利用してフランスやモロッコなどへ旅行したという沢口さん。「今後のことはまだ考えている段階だが、可能性が増え、いろいろやりたいことがある。人のためになることがしたい」と抱負を述べ、民部田町長は「文化の違いを感じた気持ちを大切に、この体験を生かし、さまざまな分野で活躍してほしい」と激励しました。

海外で得た貴重な経験を民部田町長に報告する沢口伸輔さん㊥

Topics02 川口小児童が清掃奉仕活動 園井恵子像に誓う将来の夢

川口小（河井彰校長、児童154人）は6月29日、全校で清掃奉仕活動に取り組む「クリーン作戦」を実施。児童たちが学年ごとに分かれ、日頃利用する通学路のごみ拾いや公共施設の清掃を行いました。

6年生23人は、境田地区の「働く婦人の家」を訪問。施設内を清掃した他、敷地内に建つ園井恵子のブロンズ像を磨きました。

児童たちは清掃後、幼少期を川口で過ごし、宝塚女優の夢を叶えた同小の先輩・園井恵子（本名・袴田トミ）のブロンズ像に向かい将来の夢を一人一人発表しました。

本田沙織さんは「獣医になり動物たちの命を救いたい」、佐藤圭太君は「ホッケーの選手になりたい。そのために勉強も頑張りたい」、伊藤彩希さんは「パティシエになり、おいしいスイーツでみんなを笑顔にしたい」などとそれぞれに夢の実現を誓いました。

①園井恵子のブロンズ像をきれいに磨く児童たち
②宝塚女優の夢を叶えた先輩に向かい将来の夢を誓う

1歳児健診に来てくれたお子さんのかわいい笑顔を紹介します。

お子さんの紹介
なまえ （地区）
保護者から一言

千葉大地さんの長女
千葉 未夢（ちば みゆ）ちゃん（民部田）
いつも元気いっぱいな未夢でいてね!!

杣和哉さんの長女
杣 唯璃（そま ゆいり）ちゃん（上五日市）
笑顔のたえない優しい子でいてね

中橋進さんの孫
中橋 咲々（なかはし さ さ）ちゃん（岩瀬張）
まずは元気に育ってほしい

井戸康晴さんの長男
井戸 貴裕（いど たかひろ）くん（芦田内）
健康で元気に育ってね

笈口慎也さんの長女
笈口 蒼空（おいぐち そら）ちゃん（上苗代沢）
思いやりのある真っすぐな子になってほしい。たくましく育ってください

My Dream 僕の夢 私の夢 No.312

外川 心晴（そとかわ しんせい）君 （沼宮内小５年）

将来はＪリーガーに

将来は「Ｊリーグの選手になりたいです」と夢を語る心晴君。「トップ下の選手として日本代表に選ばれたい」と大きな志を持っています。３年生からサッカースポーツ少年団ゆはずＦＣに所属。ＭＦとして活躍し、「パスを通したり、ロングシュートを打ったり、とにかく楽しいです。止めて蹴ることと周りを見ることに気を付けています」と熱心に練習に取り組みます。秋には、５年生が主体の新人チームが始動。「県大会でグループリーグ突破、そして優勝が目標です」と張り切ります。

お元気ですか No.311

地元の温泉ありがたい

田村 ミサさん(82) ＝土川＝

「孫もひ孫も大きくなってますから、小さな子どもたちがかわいいなぁと思って、忙しくても毎年来るんですよ」と話すミサさん。この日は、一方井公民館で行われた友愛活動に参加し、保育所や学童保育クラブの児童たちと盆踊りで交流を楽しみました。普段は一人で畑仕事に励むという元気なミサさん。日頃の疲れは黒石温泉で癒します。「背中が痛かった時も温泉に通ってすっかり治りましたよ。近くに温泉があって、バスで通えるなんてありがたいことです」とほほ笑みます。毎年秋には、町社会福祉協議会が行う「大名湯治」に参加。「かくし芸大会があって、踊りでいつも賞をもらうんですよ」と話し、ことしも参加を楽しみにしています。

▼2015.07.02

生産者の思い消費者へ
○JA新いわて園芸産地出荷式

JA新いわて（本所滝沢市、久保憲雄組合長）は7月2日、奥中山営農経済センター奥中山野菜出荷場で園芸産地出荷式を行いました。当日は、生産者や関係者など約250人が出席。久保組合長は、「安全・安心で味の良い野菜を生産し、消費者へ生産者の思いを届けたい」とあいさつしました。同日は、町特産キャベツ「いわて春みどり」やレタスなどを出荷。関係者がテープカットで関東方面へ出発する大型トラックを見送りました。

テープカットで「いわて春みどり」を送り出す関係者たち

▼2015.06.28

3市町の牛一堂に集う
○盛岡北部畜産共進会

岩手町と葛巻町、盛岡市玉山区の優良な牛を一堂に集め展示・評価する盛岡北部畜産共進会は6月28日、山辺内地区のJA新いわて種子センターで開催されました。当日は、3市町の畜産農家が乳牛や肉牛122頭を出品。大勢の観衆が見守る中、ホルスタイン種、黒毛和種、日本短角種の各部門ごとに審査員が体形の美しさなどを審査しました。審査の結果、名誉賞をはじめ各賞が決まると、入賞農家は自慢の牛を褒めたたえていました。

いわて純情むすめも丹精込めて育てられた牛の入賞をお祝い

ホッケー、バレー、剣道が東北へ
○県中学校総合体育大会 ▼2015.07.18-20

県中学校総合体育大会の各競技は7月18日から20日まで県内各地で行われ、町勢はホッケー、バレーボール、剣道競技で優勝や上位入賞を果たし、東北大会進出を果たしたました。

ホッケー競技は7月18日と19日の両日、町ホッケー場で開催。両日は、町内の男子4校、女子3校がリーグ戦で対戦し、応援団の声援に応え熱戦を繰り広げた結果、沼宮内中男子と一方井中女子が共に全勝で連覇。両チームと準優勝の川口中男子、沼宮内中女子が東北大会へ出場します。

バレーボール競技は18日～20日、盛岡市渋民総合運動公園体育館で行われ、地区予選1位で出場した沼宮内中女子は、ライバル校を次々と破り決勝に進出。決勝では、厨川中（盛岡市）に惜しくも敗れましたが準優勝に輝き、東北大会への切符を手にしました。なお、村田優里さん（3年）と山口若菜さん（同）が大会優秀選手に選ばれました。

また、剣道競技は18日と19日の両日、北上総合体育館で行われ、団体戦で沼宮内中男子が第3位に入賞した他、個人戦で沼宮内中の山中悠暉君（2年）が第3位、中山廉君（3年）が第5位で東北大会へ駒を進めました。

県大会を制した沼宮内中男子ホッケー部㊧と一方井中女子ホッケー部㊨

熱戦の末惜敗も準優勝、東北大会進出は快挙。沼宮内中女子バレーボール部

団体戦と個人戦で東北大会へ出場する沼宮内中剣道部（写真は6月14日、県下少年剣道大会時のもの）

▼2015.07.08

北上川で結ばれる友情
○水堀小と宮城・北上小

水堀小（佐藤真校長、児童37人）は7月8日、北上川河口の地、宮城県石巻市の北上小（新妻憲男校長、児童96人）から5年生16人を迎え、交流学習を行いました。当日は、北上川の源泉「ゆはずの泉」を見学。水堀小の5年生が伝説を紙芝居で紹介した他、支流の御堂新田の滝では水生生物調査を行いました。水堀小の下平未咲さんは「水堀のことを紙芝居で知ってもらえてよかった」と喜びました。前月には、水堀小が北上小を訪問。北上川を通じた友情が育まれています。

水堀小が北上小を「ゆはずの泉」に案内。紙芝居で由来を説明

▼2015.07.06

正しい方法身に付けて
○食品衛生協会手洗い講習会

県食品衛生協会岩手支会岩手町分会（久慈正和分会長）は7月6日、城山保育園（藤沢恵美子園長、園児86人）で手洗い講習会を開催しました。当日は、年長児15人が参加。園児たちは、ブラックライトで光るクリームを手に擦り込んでから手洗いを実践。ライトで洗い残しを確認しながら、正しい手洗いを学びました。久慈分会長は、「保育園での実施は初めて。小さいうちから正しい手洗いを身に付け、食中毒や病気を予防してほしい」と話しました。

正しい手洗い方法を身に付けようと指導を受ける児童たち

はつらつと駆ける新グラウンド
○老人クラブスポーツ大会 ▼2015.07.15

町老人クラブ連合会（田村進会長）主催のスポーツ大会は7月15日、町総合グラウンドで開催されました。当日は、町内の老人クラブから約200人が参加。地区ごとに4チームに分かれ、個人競技や団体競技で順位を競いました。同グラウンド改修後は初の開催。100㍍競走に出場した岩崎奨さん（71）＝野原＝は、「きれいで立派な施設ですね。年々100㍍が遠くなりますが、頑張りました」と笑顔を見せました。大会は沼宮内チームが総合優勝。各種目の上位チームなどは岩手紫波地区大会に町代表として出場します。

声援を受けて人工芝のトラックを駆け抜ける66歳以上100㍍競走

無邪気にボールを追いかけるU-6のキッズたち

ボール蹴る楽しさに触れる
○JFAキッズサッカーフェス ▼2015.07.26

県サッカー協会主催の「JFAキッズサッカーフェスティバル2015いわてinいわてまち」は7月26日、町総合グラウンドで開かれました。当日は、町内や盛岡市、八幡平市、滝沢市、久慈市などからサッカースポ少に所属する児童の他、年中・年長の園児など約200人が参加。児童たちは、U－10（小学校3、4年）、U－8（同1、2年）、U－6（年長、年中）の各年代別のチームに分かれ、指導員による技術指導を受けた他、5人制のゲーム形式で交流。元気いっぱいに走り回り、ボールを蹴る楽しさに触れました。

まちの文芸

短歌

石神の丘を登ればラベンダーの花の盛りて白き蝶舞ふ　岩舘　カツ

膳をよせにじり進みて声あげる50年ぶりの古希の再会　志田　悦朗

古希過ぎて八幡平の山歩きピンクの靴に心おどらせ　五十地キミ子

隠沼(こもりぬ)に植えし紫陽花百株余努力実りしうれしさのあり　橋本　チヨ

俳句

草刈って元の美田の態(なり)戻す　遠藤　金作

野の道に絶ゆることなき清水酌む　遠藤　初枝

十薬の白き十字花夕間暮れ　昆野　功

夏山の緑の色を目薬に　佐藤　栄

バラ一輪厨の内の雨やどり　志田　悦朗

誘ひ会ふ八十路の集ひ夏料理　柴田　ヒノ

片蔭を拾って伸ばす試歩の径　白井　梅子

この軒にねぐら定めし夏燕　山口　國男

窓により湯宿の裏に河鹿(かじか)鳴く　高橋　麗子

川柳

席題「真っ直ぐ」　馬渕　草　選

〈佳作〉

東京に真っ直ぐに伸びるスカイツリー　四日市俊悦

筆で書く一直線はむずかしい　久慈　正和

真っ直ぐしか見えないのが思春期　土橋はつお

〈秀逸〉

代議士は絶対九条堅持せよ　菊池　一覚

一日をフル操業で良く眠れ　柴田　満子

〈特選〉

ネギボーズまっすぐな思いつげている　佐藤　小草

真っ直ぐに西へ歩めと寺の鐘　自　句

図書館だより

町立図書館
☎62-2877

【８月の休館日】　毎週月曜日、28 日㈮。

【開館時間】　9:00 ～ 18:00

お盆期間中も通常通り開館しています。涼しい図書館をご利用ください！

新着図書

ジャンル		書　名	著　者
一般向け	小　説	豹変	今野　敏
		アノニマス・コール	薬丸　岳
	実用書	私の「戦後70年談話」	岩波書店
児童向け	絵　本	おまつりやさん	大島　妙子
		公園戦隊ダレダーマン	塚本　やすし
	読み物	3+6の夏	中澤　晶子

図書館の行事

◇おはなし会◇

【日時】　8月23日㈰ 午前11時～
【対象】　小学校就学前の親子

読み聞かせボランティア「おはなし☆きらきら☆」のおはなし会です

◇チビッコ映画会◇

【日時】8月27日㈭午後3時30分～
【対象】幼児、小学生

ふるさと再発見　いわてまち探検隊　No.41

岩手町観光ボランティアホームページ http://e-iwate.net/

町の名所・旧跡や自然、歴史などを「岩手町観光ボランティアガイドの会」会員が毎月交代で紹介します。今月のガイドは、伊藤久子さん(67歳)＝下大町＝です。

㊤戦争の爪痕が感じられる防空壕の入口

㊨「じんじょの坂」の由来とされる地蔵

「じんじょ（地蔵）の坂」

写真店を営んでいた野口町の稲村さんの付近に「じんじょの坂」と呼ばれる坂があります。「じんじょ」は「地蔵」のなまった言葉と思われます。

江戸時代には、冷害が続き餓死者が続出したり、行き倒れの死者が出たりしたので、お地蔵さんを建てて供養したそうです。かつては、奥州街道沿いにあったお地蔵さんは、いつの頃か分かりませんが、稲村さんの庭に移されました。今でも町の人々を優しく見守っています。

また、稲村さんの庭には石をくりぬいて作った防空壕もあり、戦争の爪痕を感じます。折しもことしは戦後70年という節目の年。終戦記念日の８月15日、町出身者の５００余名の戦没者に合掌―。

毎月28日は「いわて減塩・適塩の日」
脳卒中予防につながる減塩

今月は山本めぐみ栄養士からのお便りです

脳卒中死亡率 全国ワースト1の「岩手県」

三大成人病（生活習慣病）と呼ばれる「悪性新生物（がん）」、「心臓病」、「脳卒中」。これらのほとんどは「高血圧」、「糖尿病」、「脂質異常症」、「糖尿病」などの自覚症状が無い疾患が原因となり、気付かないうちに動脈硬化が進行し、発症することが多くあります。その中でも、岩手県は脳卒中死亡率（平成22年厚生労働省「人口動態統計」の都道府県別年齢調整死亡率）が全国ワースト1となっており、県民の重要な健康課題です。

最大の危険因子は高血圧

脳卒中の発症に関わる危険因子は高血圧、糖尿病、不整脈、喫煙、肥満、飲酒などがあげられますが、中でも高血圧は脳卒中最大の危険因子といわれ、血圧を5～6ミリ水銀下げるだけで、脳卒中のリスクは42％も減少するというデータもあります。血圧を下げれば、動脈硬化の進行が抑えられ、血管の狭窄化を阻むことができるからです。

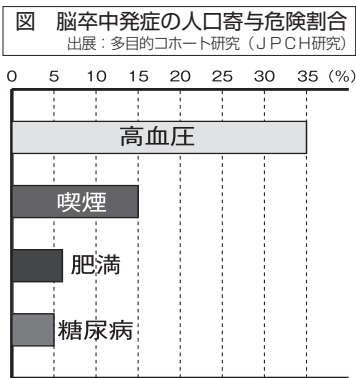



図　脳卒中発症の人口寄与危険割合
出展：多目的コホート研究（ＪＰＣＨ研究）

0　5　10　15　20　25　30　35（％）
高血圧
喫煙
肥満
糖尿病

高血圧予防のために減塩を！ 加工食品の塩分に注意

平成24年国民健康・栄養調査報告（厚生労働省）によると、岩手県は1日当たりの食塩摂取量が男性女性ともに全国で一番多く、脳卒中や高血圧予防のために減塩が必要なことが分かります。

減塩しているつもりでも意外と摂ってしまうのが塩分です。近年は食塩としての摂取より、調味料を含む加工食品からの摂取が約9割を占めていることから、食品の隠れた塩分に目を向ける必要があります。調味料は計量スプーンで計って使う、食品の塩分表示を確認するなどの習慣をつけ、塩分摂取を控えましょう。

夏野菜で余分な塩分を排出

夏野菜には、血圧を上げる原因となるナトリウムの排泄を促し、血圧を下げる効果のあるカリウムが多く含まれています。旬の野菜は調味料の味に頼らずとも、旨みが十分にあります。「野菜総合産地」である町のおいしい夏野菜を食べて、体内の余分な塩分を外に排泄しましょう。

家庭の味が将来に影響

毎月「28日」は「いわて減塩・適塩」の日です。町では、さまざまな減塩・適塩方法を栄養教室などで紹介していきます。

減塩・適塩は大人だけの課題ではありません。子どもの頃からの味覚は大人になるまで引き継がれ、家庭の味が将来の味覚や健康に大きく影響します。子どもの将来の健康のためにも、減塩・適塩習慣を心掛けましょう。

午後７時までの時間延長受付日は８月21日（金）と24日（月）

児童扶養手当の申請手続きを忘れずに！

問 役場町民課　子育て支援係
☎ 62-2111内線504

現在、児童扶養手当や特別児童扶養手当を受けている人は、毎年８月に現況届などの提出が必要です。

この届け出は、引き続き手当を受けられるかを審査するもので、提出がない場合は、手当の支給が差し止めになります。また、提出が遅れると支給が遅れることもありますので、該当する人は忘れずに手続きをしてください。

【受付期間】○**児童扶養手当**　８月 31 日（月）まで
○**特別児童扶養手当**　８月 11 日（火）から９月 10 日（木）まで。いずれも平日の午前８時 30 分から午後５時 15 分まで

【受付場所】　役場町民課子育て支援係（１階２番窓口）

【受付時間延長日】　８月 21 日（金）と 24 日（月）は、午後７時まで受け付けます

【手続きに必要なもの】
○**児童扶養手当**　①印鑑②手当証書③養育費等に関する申告書④勤務先の住所と電話番号が分かるもの
○**特別児童扶養手当**　①印鑑②手当証書③勤務先の住所と電話番号が分かるもの④身体障害者手帳・療育手帳
※その他、状況に応じて書類を提出していただくことがあります

情報インデックス

岩手町役場 ☎62-2111
問 問い合わせ先
申 申し込み先

募集します

消防職員を募集します
■盛岡地区広域消防組合

盛岡地区広域消防組合は、平成28年度に採用する消防職員を募集します。

【受験資格】▼高校卒業(来春卒業見込みを含む)以上▼高校卒は平成4年4月2日〜平成10年4月1日生まれの人。大学または短大卒は平成2年4月2日以降生まれの人

【勤務地】盛岡市、八幡平市、滝沢市、岩手郡、紫波郡内の消防署・分署・出張所

【申込期間】8月17日(月)〜9月9日(水)(土曜・日曜を除く午前8時30分から午後5時30分まで)

【第一次試験日】10月18日(日)午前10時

【申込方法】消防署などで配布する申込用紙に必要事項を記入し、組合事務局に持参してください。郵送で申込用紙の受け取り・提出もできます

申・問 盛岡地区広域消防組合事務局〒020-0023盛岡市内丸8番5号☎019-626-7403

郷土を守る自衛官募集
■防衛省

防衛省は、来春採用予定の各種自衛官を募集します。

【募集種目】防衛大学校学生、防衛医科大学校医学科学生、同看護学科学生、航空学生、一般曹候補生、自衛官候補生

【募集内容】種目により異なりますので問い合わせください

申・問 自衛隊岩手地方協力本部盛岡募集案内所☎019-641-5191

行われます

にこにこふれあい交流
■町障がい者交流会実行委

町障がい者交流会実行委員会は、「にこにこふれあい交流会」を開催します。一般の参加も大歓迎ですので、ぜひ参加して交流を深めてみませんか。参加は事前に連絡ください。

【日時】8月29日(土)午前10時〜午後1時

【場所】森のアリーナ

【内容】各障がい者団体の発表や交流会、郷土芸能発表、合唱など

【参加費】500円(昼食代など)

申・問 町障がい者交流会実行委員会(役場健康福祉課内)☎62-2111内線512、514

よくわかる相続と登記
■法務局市民講座

盛岡地方法務局は相続と登記についての「法務局市民講座」を開催します。

【日時】9月9日(水) ①午前10時〜正午 ②午後2時〜4時

【場所】盛岡第2合同庁舎3階会議室(盛岡市盛岡駅西通1-9-15)

【内容】講演「よくわかる相続と登記」(120分)

【募集人数】各回40人(予約制・先着順)

【受講料】無料

【申込方法】電話で申し込みください

申・問 盛岡地方法務局総務課〒020-0045盛岡市盛岡駅西通1-9-15☎019-624-9861

特許や商標登録の相談
■知的財産権無料相談会

一般社団法人県発明協会は、特許や商標登録に関する知的財産権無料相談会を開催します。

【日時】毎週木曜日午後1時〜4時

【場所】県発明協会・相談室

【相談者】弁理士・弁護士などの知財専門家

【定員】4人程度(予約制・先着順)

申・問 (一社)県発明協会☎019-634-0684 ○FAX019-631-1010

相続のこと無料で相談
■県司法書士会

県司法書士会では、「相続に関する無料相談キャンペーン」を行います。

期間中は各会員の事務所とフリーダイヤルで、▼自宅が亡くなった祖父名義のままになっている▼相続人の中に行方不明者がいる―などの相談を受け付けます。

【期間】8月3日〜31日(土日・13日、14日を除く)

【相談受付】フリーダイヤル0120-823-815(午前10時〜午後1時)

問 県司法書士会事務局☎019-622-3372

その他

個人事業者の皆さまへ
■消費税の中間申告

個人事業者で平成26年分の確定消費税額(地方消費税を含まない)が48万円を超える人は、消費税および地方消費税の中間申告と納付が必要です。中間申告は、前年実績による方法と仮決算に基づく方法があります。

なお、確定消費税額に応じて、中間申告・納付の回数が異なります。詳しい内容は、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)をご覧ください。

火の始末に気をつけて
■防災の備えも

花火やお盆などで火を使う機会が多くなります。次のことに注意して火災を起こさないようにしましょう。

▼「火遊びはしない。見かけたら注意する」を子どもに教えましょう ▼花火をするときは、水を入れたバケツを準備し、大人が付き添いましょう ▼火を付けているときは、その場を離れないようにしましょう

また、9月1日は「防災の日」、8月30日〜9月5日は「防災週間」です。地震で倒れやすい家具の確認、非常用持ち出し品の準備、危険箇所などを家族で確認しましょう。

申・問 盛岡中央消防署岩手分署☎62-6119

電気は正しく安全に！
■電気使用安全月間

経済産業省は毎年8月を「電気使用安全月間」と定めています。夏は肌の露出が多く、汗もかくことから電気が流れやすい上、暑さで注意力が散漫になるため、感電事故が多くなります。次のことに注意し、電気の安全な使用を心掛けましょう。

▼プラグの抜き差しは乾いた手で行いましょう ▼エアコン室外機にはアースを付けましょう ▼洗濯機には必ずアースを付けましょう ▼電気製品の取扱説明書をよく読みましょう

悩まずご相談ください
■自動車事故被害者支援

自動車事故で重度の後遺症が残った人や、亡くなられた人の家族を救済するための制度があります。

○交通遺児等育成資金制度(無利子貸付)

【貸付金額】一時金15万5千円 月々2万円

【貸付要求】市町村民税が非課税または均等割のみ課税など

【対象者】0歳〜中学3年生

【返還方法】割賦による20年以内の均等払い(高校や大学へ進学する場合は返還猶予あり)

○介護料支給制度

【受給資格】自動車事故により、重度の後遺症が残ったため、常時または随時の介護を必要とする人

【支給額】月額2万9290円〜13万6880円(障害の程度、介護に要する費用に応じて支給)※介護保険を利用している人など支給できない条件があるので、問い合わせください

○交通事故被害者ホットライン

交通事故被害に遭い相談先にお困りの人へ電話で各種サービスを案内します

☎0570-000738(ナビダイヤル)詳しい内容は、ホームページ(http://nasva.go.jp)をご覧ください

申・問 独立行政法人自動車事故対策機構岩手支所〒020-0871盛岡市中ノ橋通1-4-22中ノ橋106ビル☎019-652-5101 FAX019-652-5150

魅力ある職場づくりに
■雇用関係助成金

従業員などの新規雇用や処遇改善、能力向上など、次のような取り組みを支援する助成金制度があります。

▼従業員の新規雇用 ▼従業員の処遇や職場環境の改善 ▼従業員の雇用維持 ▼離職者の円滑な労働移動 ▼障害者の労働維持 ▼従業員などの職業能力の向上

なお、内容が改正された助成金もあります。詳しい内容は、厚生労働省ホームページ(http://www.mhlw.go.jp)をご覧ください。

申・問 岩手労働局職業安定部職業対策課分室☎019-606-3285

ヤング散歩 YOUNG No.322

小泉 拓也さん

【プロフィル】 こいずみ・たくや(24)=下苗代沢2=。
盛岡中央高を平成22年3月に卒業。同年4月、SWS東日本(株)に就職。同岩手工場に勤務。血液型O型、かに座

周りの人に恵まれています

会社では設備の修理や点検などを担当する拓也さん。「部署が変わったばかりなので、早く一人で仕事ができるようになりたい」と向上心を持って仕事に取り組みます。秋まつり「ろ組」の先輩に誘われて入った消防団では、ポンプ操法の1番員を担当。「大会に出たり災害で出動したり大変ですが、入ってみて消防団は地域に必要だと感じている」と頼もしく語ります。たくさんの先輩や仲間に誘われて、消防や祭りの他、バレーボールやフットサルなど幅広く楽しむ拓也さん。理想の女性像は「明るくて社交的な人」だとか。「周りの人に本当に恵まれています。季節ごとにいろいろな楽しみがあり、一年中飽きませんよ」と爽やかに笑います。

よろこび かなしみ

６月受け付け分

●お婿さん、お嫁さん● １組（３組）

▼６月

日	お名前	世帯主	行政区
29	川又 祥平 大渕 友代	紀 元 本 人	前ケ沢 城 山

●生まれたお子さん● ３人（５人）

▼６月

日	お名前	保護者	行政区
1	水賀美 仁	晃	細 沢
3	帷子 明生	郁 弥	下鳴沢
4	馬場 ひかり	康 平	今 松

●亡くなられた人● 19人（20人）

▼５月

日	お名前（年齢）	世帯主	行政区
31	鍋倉 七郎 (85)	キ ヨ	上苗代沢

▼６月

日	お名前（年齢）	世帯主	行政区
2	佐々木 敏 (77)	晃	小山沢
3	森 トメ (81)	義 継	民部田
7	柳本 竹男 (88)	本 人	新 町
9	鍋倉 宏 (74)	貴久子	田 中
11	羽鳥 芳子 (84)	本 人	上大町
12	武田 ミキ (67)	美 孝	今 松
12	岩崎 綾子 (89)	本 人	山 道
14	田村 フサ子 (81)	益 榮	柳 橋
15	横澤 武 (88)	ムネ子	上五日市
17	工藤 初美 (44)	一	横 田
18	髙橋 美代 (81)	陽 子	下大町
18	澤口 カズ子 (73)	喜一郎	下苗代沢2
21	橋本 ミツ子 (85)	勝 則	柳 橋
23	佐藤 ノブ子 (84)	公 一	大 渡
25	髙橋 ヒデ (75)	一 夫	御 堂
25	遠藤 哲男 (86)	敏 男	新 田
27	今松 サメ (90)	本 人	今 松
29	澤内 元三郎 (86)	和 浩	上苗代沢

組数、人数の( )内は実数です。お婿さんお嫁さんは、結婚して町内に住所がある人を掲載しています。
広報に掲載を希望しない人は、届け出のときに町民課にお申し出ください。

子どもが急病のとき

こども救急相談電話

【受付時間】 午後7時～ 11時(年中無休)
【電話番号】 局番なしの☎#8000 ※ダイヤル回線電話、ＩＰ電話(ひかり電話)、ＰＨＳからは ☎ 019-605-9000

診療時間外の受診

■症状が軽い場合
【受診場所】 盛岡市夜間急患診療所
盛岡市神明町3-29盛岡市保健所2階 ☎ 019-654-1080
【受付時間】 午後7時～ 11時

■症状が重い場合
【受診場所】 小児救急入院受入当番病院
下記予定表のとおり

日	月	火	水	木	金	土
						8/1 医大
2 中央	3 医大	4 川久保	5 中央	6 日赤	7 中央	8 こども
9 中央	10 中央	11 川久保	12 日赤	13 医大	14 中央	15 日赤
16 中央	17 医大	18 川久保	19 中央	20 中央	21 日赤	22 こども
23 中央	24 医大	25 中央	26 医大	27 中央	28 医大	29 日赤
30 医大	31 中央	9/1 川久保	2 日赤	3 医大	4 中央	5 こども
6 中央	7 医大	8 川久保	9 中央	10 医大	11 中央	12 医大

【受付時間】 土曜日は午後1時～ 5時、夜間は午後5時～翌朝9時
【対象】 症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます
【注意点】 日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診しましょう。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください

■当番病院の連絡先
【中 央】 県立中央病院 ☎ 019-653-1151
【日 赤】 盛岡赤十字病院 ☎ 019-637-3111
【医 大】 岩手医科大学附属病院 ☎ 019-651-5111
【こども】 もりおかこども病院 ☎ 019-662-5656
【川久保】 川久保病院 ☎ 019-635-1305

こころといのちを支えるいわて

一人で悩まず相談ください

■町傾聴ボランティア「おひさま」

「おひさまサロン」
※予約不要です。悩み事を話してみませんか？
【開催日】 毎月第２、第４月曜日（祝日の場合翌日）
【時 間】 午後１時～３時
【場 所】 プラザあい１階

■盛岡いのちの電話☎ 019-654-7575（正午～午後９時、日曜日のみ午後６時まで） ■県精神保健福祉センター☎ 019-622-6955（午前９時～午後４時 30 分） ■役場健康福祉課☎ 0195-62-2111（内線 518）

８月 町民カレンダー

日(曜)	時間	行事名	場所
5（水）	12:30 ～	３歳児健康診査 (平成23年12月１日～平成24年２月５日生まれ)	町保健センター
6（木）	8:30 ～	第 22 回石神の丘美術館杯ゲートボール大会	町総合グラウンド
7（金）	9:30 ～ 12:00	妊婦教室２回目 (平成 27 年９月～ 12 月出産予定の女性)	町保健センター
	13:00 ～	町制施行 60 周年記念町ぐるみ特別事業 日本のこころのうた 子守唄と朗読のつどい	森のアリーナ
	15:00 ～ 17:00	第 35 回町産業まつり花き共進会 (９日まで。８、９日は９：00 ～ 17：00)	道の駅「石神の丘」道路情報休憩施設多目的ホール
8（土）	11:00 ～	伊藤馨一彫刻展開場式	石神の丘美術館
14（金）	11:00 ～ 20:30	第 21 回町夏まつり	道の駅「石神の丘」
18（火）	13:00 ～ 16:00	悪質商法トラブル・多重債務出前相談会 (要予約：役場総務課防災交通係 ☎ 62-2111 内線 203)	町総合開発センター
19（水）	9:45 ～	離乳食教室 (平成 27 年４月生まれのお子さんの家族)	町保健センター
	10:00 ～ 15:30	盛岡年金事務所出張相談 (要予約：盛岡年金事務所 ☎ 019-623-6211)	ゆはず交流館
20（木）	9:00 ～ 12:00	人権・行政相談	町勤労青少年ホーム
	16:00 ～	第 42 回東北総合体育大会ホッケー競技会 第 70 回国民体育大会東北ブロック大会 ホッケー競技開会式 (競技は 21 日９：30 ～ 23 日 15：35)	町ホッケー場 町総合グラウンド
21（金）	8:30 ～ 20:00	県知事選挙期日前投票 (９月５日まで。ただし、県議会議員選挙期日前投票は 29 日～９月５日)	役場期日前投票所
	15:00 ～ 17:00	町制施行 60 周年記念町ぐるみ特別事業 園井恵子のふるさと岩手町からの発信 作家 山﨑洋子 講演会	プラザあい
25（火）	12:30 ～ 12:45 ～	９カ月児健康診査（平成 26 年 11 月生まれ） ６カ月児健康診査（平成 27 年２月生まれ） １歳児健康診査（平成 26 年８月生まれ） ※乳幼児の健診を希望する人はどなたでもおいでください	町保健センター
27（木）	10:00 ～ 12:00	子育てサロン“すくすく”	町保健センター
29（土）	9:00 ～	第 14 回学童新人大会岩手北予選	町野球場
	9:00 ～ 11:00	第 39 回出光イーハトーヴトライアル大会	北山形大金沢地区（宮前セクション）
	10:00 ～ 13:00	第 14 回町にこにこふれあい交流会	森のアリーナ

９月

◆ 町税などの納付期限 ◆

税目	納付期限
町県民税（第２期） 国民健康保険税（第２期）	８月 31 日(月) 口座振替日：８月 25 日(火)

日(曜)	時間	行事名	場所
1（火）	9:00 ～	町小学校陸上競技記録会	町総合グラウンド
4（金）	9:30 ～ 12:00	妊婦教室１回目 (平成27年11月～平成28年２月出産予定の女性)	町保健センター
6（日）	7:00 ～ 18:00	県知事・県議会議員選挙 投票日	町内各投票所
	8:30 ～	町スポーツ少年団ホッケー交流会	町ホッケー場
9（水）	12:30 ～	１歳６カ月児健康診査 (平成 26 年１月９日～平成 26 年３月９日生まれ)	町保健センター
11（金）		東北倶楽部・東北女子倶楽部対抗競技 希望郷いわて国体ゴルフ競技リハーサル大会	岩手沼宮内カントリークラブ
13（日）	9:00 ～	第 39 回県ＯＢ軟式野球大会岩手北予選	町野球場

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、回覧や町ホームページなどでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

医療

休日当番医 【受付時間】9:00 ～ 17:00

８月

日（曜）	当番医
2（日）	佐々木医院
9（日）	さわやかクリニック
16（日）	塚谷医院
23（日）	佐藤整形外科クリニック
30（日）	佐藤整形外科クリニック

９月

日（曜）	当番医
6（日）	北上脳神経外科クリニック
13（日）	沼宮内地域診療センター

当番医実施医療機関の電話番号

▶岩手沼宮内クリニック ☎61-2025
▶北上脳神経外科クリニック ☎61-3636
▶佐々木医院 ☎62-2234
▶佐藤整形外科クリニック ☎68-7240
▶佐渡医院 ☎62-3211
▶さわやかクリニック ☎62-2043
▶塚谷医院 ☎62-1155
▶沼宮内地域診療センター ☎62-2511

県立中央病院附属 沼宮内地域診療センター

診療科	診療日	受付時間
内 科	月～金曜日	8:30 ～ 11:30（午後随時）
外 科	月～金曜日	診療時間 9:00 ～ 17:00

応援診療科（８月）

診療科	診療日	受付時間
脳神経外科 ※要予約	11 日	8:30 ～ 11:00
循環器(内科) ※要予約	3、24 日	13:00 ～ 15:30
小児科	21 日	13:00 ～ 16:00
皮膚科	11、25 日	13:00 ～ 15:30
整形外科	21 日	8:30 ～ 11:30

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

町の"いま"を伝える
広報 いわてまち
Iwate-machi Monthly Public Relations Paper
No.674
2015年【平成27年】8月1日発行

社長たちが魅せる強い団結力
ダンスチーム「ヌマザイル」

日頃の練習と飲み会で培った団結力で息の合ったダンスを披露する「ヌマザイル」のメンバーたち（7月24日、街の駅「よりーじゅ」）

ダンスチーム「ヌマザイル」は、東北銀行沼宮内支店の親睦会「東友会」（柴田和子会長）のビアパーティーを盛り上げようと結成され、活動は7年目になります。メンバーは会員企業の代表に同支店の行員が加わり現在7人。下平寿さん(45)＝石神＝は「社長たちが集まるダンスチームなんて、他にはあまりないでしょ」と胸を張り、北上雅宣（まさのり）さん(44)＝民部田＝は「まさか自分がと思ったが、やってみたらこんなに楽しい時間はない」と充実の表情。ダンスを指導する柴田麻千子さんは「社長さんたちだけあって、責任感と団結力が素晴らしい」と評価します。リーダーの佐々木さんは「練習は毎回1時間、飲み会は3時間。これで結束が強くなる」と秘訣を明かします。

町芸術祭など町内の舞台に出演する他、岩手国体「わんこダンス」コンテストにも出場。地区大会で見事、最優秀賞に輝き、9月に盛岡市で行われる決勝大会に出場します。

ことしもビアパーティーの会場を大いに沸かせた「ヌマザイル」。踊り切った後の光る汗に冷たい生ビールがよく似合います。

代表：佐々木裕之(51)
＝水堀＝
会員：７人

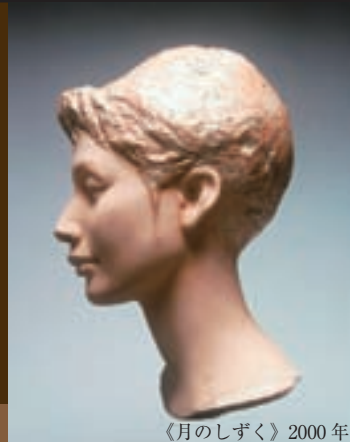
「いきいきサークル」では、町内で活動するスポーツ、文化、ボランティアなどのサークルやさまざまな団体を紹介します。 問 役場企画商工課企画広報係 ☎62－2111 内線217へ

美術館へ行こう

岩手町町制施行60周年記念
――――石に願いを。 *Ito Keiichi*

伊藤 馨一 彫刻展

【会期】 8月8日(土)から9月23日(水・祝)まで
【開館時間】 午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
【休館日】 毎週月曜日。ただし、8月10日(月)、9月21日(月・祝)は開館します
【観覧料】 町民割引：一般400円／大・高生240円
(受付に運転免許証、保険証などを提示ください)

★第2回東北「道の駅」大賞受賞記念★ 本展チケット購入者にお得なクーポン券をプレゼント。道の駅「石神の丘」の産直やレストランで利用できる300円引券またはソフトクリーム引換券です

《月のしずく》2000年

問 石神の丘美術館 ☎62－1453

人口の動き

H27.6.30現在 （ ）内は前月比

【人口】 男 7,067人(△ 2)
女 7,353人(△12)
計 14,420人(△14)
【世帯】 5,467世帯(0)
【出生】 5人 【死亡】 20人
【転入】 25人 【転出】 24人
【外国人住民】 127人

編集後記

町の皆さんこんにちは。いつも取材などに協力いただきありがとうございます。

日々の蒸し暑さに耐えながら本号の取材、編集を進めていましたが、校了を前にようやく梅雨明けとなりました。爽やかな夏の暑さになったような気がします。

夏といえば夏休み。そして、宿題。あなたはどのタイプ？①早々に終わらせる②こつこつ進める③終わり際にあわててやる―。私は③でした。性格は変わらないものです。今も本紙編集に追われています。（佐藤）

■編集／岩手町企画商工課
〒028-4395 岩手県岩手郡岩手町五日市10-44
☎0195-62-2111 FAX0195-62-3104
■町防災行政無線の放送内容確認 ☎0195-62-5367（自動応答電話）
■町公式ウェブサイトアドレス http://www.town.iwate.iwate.jp
■町公式ツイッターアカウント @iwatemachi_koho